

鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会
困難を抱える児童・生徒を対象とした自然体験活動支援事業募集要項

令和2年6月

社会環境の変化により子どもたちが自然の中で活動する機会が減少している。幼児期から自然とふれあうことは、子どものみずみずしい感受性や五感を刺激し、体験が豊かであればあるほど、言葉を豊かにし、想像力を高め、さらには、それらの活動を通して多くの知識や技能を学ぶことができる。本事業は、子どもの体験格差是正の一助とするため、県立大山青年の家等で自然体験活動を行う活動費用を鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会が負担することにより、自然体験活動の機会を提供し、推進の機運を高めることを目的とする。

- 1 募集対象 子どもの貧困対策として学習支援を行っている団体等
- 2 体験場所 鳥取県立大山青年の家、鳥取県立船上山少年自然の家、空山ポニー牧場
氷ノ山自然ふれあい館 響の森
- 3 実施期間 令和2年8月から11月末まで
- 4 支援内容 学習支援事業に参加している児童及び生徒、学習指導者、スタッフが上記体験場所で行う体験活動に係る以下に記載する経費を支援する。
 - ・体験場所までの移動に使用する貸切バス代
 - ・活動に必要な経費（薪等の消耗品等）
 - ・傷害保険代
 - ・鳥取県立大山青年の家、鳥取県立船上山少年自然の家での宿泊に係る経費（シーツ代）
 - ・鳥取県立大山青年の家、鳥取県立船上山少年自然の家での食事代（児童・生徒分のみ）
- 5 実施団体の選定方法
市町村に募集期間を2期に分け照会したのち、以下の優先順位で選定する
 - ① 希望する日程、場所で、体験場所の都合がつく
 - ② 第1期2団体、第2期2団体（全体で4団体、第1期の残枠は第2期に持ち越し）を目途に、実行委員会事務局が選出（多数の場合は抽選）
- 6 今後の予定
 - ・6月下旬 市町村に照会
 - ・7月17日（金） 第1期募集締め切り（9月末までの活動）
 - ・7月下旬 体験場所4施設に受け入れ可能か照会
実行委員会事務局から団体に結果連絡
 - ・8月以降 団体が体験場所に連絡し、活動内容等の相談を行う
 - ・8月21日（金） 第2期募集締め切り（10月から11月末までの活動）
 - ・8月下旬 体験場所4施設に受け入れ可能か照会
実行委員会事務局から団体に結果連絡
 - ・9月以降 団体が体験場所に連絡し、活動内容等の相談を行う
 - ・活動の都度 大山青年の家、船上山少年自然の家又は社会教育課（空山ポニー牧場、氷ノ山自然ふれあい館 響の森分）が貸切バスの発注、バス代支払い、アンケートの回収を行う
- 7 その他 新型コロナウイルス感染予防対策の取組
 - (1)活動施設について
 - ① 手指消毒液の設置
 - ② 屋内施設の換気
 - ③ ドアノブ・トイレほか、館内の除菌消毒の実施
 - ④ 3密を避ける・フィジカルディスタンスを保つ活動内容の工夫

(2)貸切バスについて

- ① 車内に手指消毒液を設置
- ② 車両利用前後に座席の除菌消毒を実施
- ③ 走行中、可能な限り窓を開けて車内を換気